


[行政情報](#)
[くらしのガイド](#)
[福祉と健康](#)
[手続き](#)
[教育委員会](#)
[トップページ](#) > ひので映画大使最新版



## ひので映画大使最新版

### 第50回映画大使「マンデラ –自由への長い道–」

期 日 平成26年5月24日(土) ※公開初日

場 所 イオンシネマ日の出

#### 【作品紹介】

昨年12月、全世界の人達に惜しまれながら95歳で亡くなった、元南アフリカ大統領、ネルソン・マンデラ氏。

27年にも亘る獄中生活を乗り越え、非白人を迫害してきた人種隔離政策(アパルトヘイト)撤廃のため尽力し、民主的南アフリカの礎を築いたマンデラ氏の人生を、彼を支えた妻・ウィニーとの絆と共に完全映画化!

監督は「ブーリン家の姉妹」のジャスティン・チャドウィック、マンデラ役には「パシフィック・リム」のイドリス・エルバ、「007 スカイフォール」のナオミ・ハリスが妻ウィニーを演じます。



(C) 2013 Long Walk To Freedom(Pry)Ltd.

### 映画大使の「感動と感想」をお伝えします。

このコーナーは、映画を見た感想や感動を、ストーリーは伏せて「みなさん」に紹介するコーナーです。

#### ▶ 映画大使の「第一声!」

- ☆ マンデラさんの熱意に感服!
- ☆ 差別という愚行が永久に無くなる事を願います。
- ☆ 「団結」する事の大切さを知りました!



今回参加された、映画大使の皆さんです!

#### ▶ 映画大使の「映画のツボ!」

##### ■Aさん

内容的には重いテーマですが、マンデラの信念が伝わりました。若い頃の過激な運動から非暴力主義へと変わっていく過程をさらに掘り下げるともっと良かったと思います。妻のウィニーがマンデラとは対象的な行動をとっていく所や、今現在どうしているのかなど、興味は尽きません。憎しみの連鎖反応というのは怖いですね。平和の大切さを改めて感じます。

##### ■Bさん

マンデラの事は表面上の事しか知りませんでしたが、長い間投獄されたのに白人を許すなど、その考えがブレないのが凄いです。ノーベル平和賞受賞も頷けますね。感動しました。

##### ■Cさん

彼の精神力の強さには驚きです。家族と離ればなれになった上に、27年間という長い投獄生活を耐えるだけでも凄いの、釈放後もなお信念を曲げずに平和に導く姿は本当に凄いです。

##### ■Dさん

少しハードルの高い作品でした。南アフリカの人種差別はニュースなどで知ってはいましたが、実感として分からない部分がありました。この一つの作品だけでは、そういう事実や27年という獄中生活などを「実感」としては完全には捉えられないでしょう。以前、「遠い夜明け」(1987年イギリス映画。リチャード・アテンボロー監督)という作品を観ました。一人のジャーナリストが、アパルトヘイトの真実を世界に知らしめるという内容ですが、こちらはまだ人種差別の本当の悲劇というもの

を世界が知らない時代の話ですが、両作品を観ると結びつく所があって実感しやすいと思います。

マンデラさんが中心にはなりましたが、彼は一つの象徴で、彼一人だけでは南アフリカは変わらなかったでしょう。世界が注目した事で変わっていったんだと思います。

#### ■Eさん

団結の拳が印象的ですね。自分達の国土で平和に暮らしたいだけなのに、差別や内戦があって、それによって生まれる憎しみは人生を狂わせてしまうのですね。怖いです。マンデラが投獄中のウィニーのセリフ、「憎しみがあるから平気」というのは衝撃でした。逆にマンデラのセリフで、「憎しみを覚えるけれど愛も覚えられるのが人間」という言葉は衝撃が大きい分、とても印象に残ります。

「許す」事の大切さ、マンデラの偉大さと器の大きさを知りました。

#### ■Fさん

マンデラの逸話を繋いだ内容だったと思います。刑務所では子ども扱いからか、半ズボンを履かされ、目的のない作業を強いられていました。世界の注目があつたから死刑ではなかったですが、獄中27年もよく耐えられたと思います。マンデラは信念や目標があつたし、仲間もいたので、心強かつたでしょう。ウィニーは強い人ですね。でも暴力で訴えても何も解決しないのは明らかです。マンデラ自身、長い月日で成長したんでしょね。暴力ではない解決、互いの立場を尊重すれば、それは叶うと思ったのでしょうか。

映画「インビクタス」(2009年アメリカ映画。クリント・イーストウッド監督)ではマンデラの人間性が多く描かれていました。とても人間味のある人だったんですね。

#### ■Gさん

内容的にはショックでした。長く続いた差別というものの怖さと、平和な日本との差を感じました。マンデラの偉大さは伝わりましたが、その裏で多くの人達が犠牲になったんですね。

#### ■Hさん

マンデラの子どもへの愛情の部分では涙が出ました。「教育」というのは本当に必要だと思います。

#### ■Iさん

映画の時間内では仕方ないですが、展開が早かつたですね。南アフリカでは今も銃撃戦があるそうです。マンデラが大統領になるまでの映画でしたが、その後の南アフリカがどうなっていくのかが、気になりました。マンデラの指導力は凄いです。

### 📌 作品の内容(印象に残ったシーンなど)

- ・ マンデラさんは弁護士でもあつたので、弁が立つというか、一言一言に説得力がありますよね。
- ・ 皆を説得してきましたが、唯一説得出来なかつたのは、奥さんだけだったのかな・・・。
- ・ 人種差別というのは、南アフリカだけではなく世界中であつたし、今もあります。本当に考えなくてはならない問題ですよ。
- ・ エンドクレジットで南アフリカの国旗が映されていましたが、色々な色が描かれていますが、どういう意味なのでしょう？(6色で描かれていますが、赤は過去の対立で流された血、青は空と二つの海、緑は農場と自然、黄は南アで産出される金に代表される天然資源、黒は黒人の国民と他のアフリカ諸国とのつながり、白は白人の国民を平和を示していると言われているそうです。)
- ・ 差別があからさまでしたよね。白人専用とか黒人専用とか。南アフリカの差別は特にそういう事が顕著でした。
- ・ ウィニーさんも可愛そうな立場でしたよね。強くならなければ生きていけなかつた・・・。

### 📌 まとめ

人間は「団結」する事で大きな力を得る事が出来ます。その力をどう使うかで、物事は大きく変わります。暴力に使うのか、対話に使うのか・・・。当事者でないと分からない苦労や状況もあると思います。正しい道へと導く指導者の存在は欠かせませんが、指導者自体もそのリーダーシップ発揮のための苦労がある筈です。マンデラさんの格言に「指導者には、民衆を正しい方向へ導いているという自信のもとに、群れより先を行き、新たな針路を拓かなくてはならないときがある」というのがあります。そして、「達成するまでそれは不可能に見える」という言葉からも、厳しい状況の中でこそ、「目標」をしっかり持つ事の大切さ、尊さをマンデラさんは教えてくれました。

劇場では是非ご覧ください！

平成21年に誕生した「ひので映画大使」。今回で50回目を迎えました。現在大使の方、過去に大使だった方に感謝申し上げますと共に、今後も「映画大使」そして、「映画」の発展のため、楽しく活動していきましょう！6月28日には現・旧大使の方を対象にした「50回記念イベント」をイオンシネマ日の出さんのスクリーンを借り切って開催いたします。

是非ご参加ください！！

➡ 関連ページ: [これまでのひので映画大使](#)

➡ 関連ページ: [ひので映画大使のトップに戻る](#)

**問合わせ先: 教育委員会文化スポーツ課社会教育係**

電話042-597-0511(内線541)

◀ [前のページへ戻る](#) | [ページトップへ](#) ▶

〒190-0192 東京都西多摩郡日の出町平井2780番地 電話 042-597-0511(代表)

Copyright © 2011 Hinode Town All Rights Reserved.

[サイトマップ](#) | [このサイトについて](#)